

## ICT 端末で白地図にまとめ、自然条件と

## 米の生産との関連を実感的に捉えさせる学習

第5学年

くらしを支える食料生産

## こんな子どもたちの姿が生まれました！

- 社会的事象から問いを見だし、一人一人が予想をもって追究に向かうことができました。
- 白地図にまとめる活動を通して、日本の主な米の生産地の分布と自然環境との関連を実感的に捉えることができました。

## 協働学習支援ツールを用いた考えの共有



学習課題に対する予想を端末に書き込み、仲間と共有して課題解決に向かう。

- ・ ICT 端末に本時の課題に対する自分の予想を書き込む。
- ・ 書き込んだ予想を、協働学習支援ツールを用いて学級の仲間と共有し、確認する。

## 教師の指導のポイント

- 一人一人がどんな見方・考え方を働かせて考えているかを把握するとともに、互いの考えを共有することで課題解決に向けて予想することができていない児童の支援につなげる。

## ICT端末を用いて白地図にまとめる活動



地図帳から読み取った統計データを基に、端末上の白地図に米のマークを付ける。

- ・ 白地図とイラストアプリを用いて、日本国内の米の主な生産地にマークを付けていく。
- ・ 白地図に付けられたマークの広がりを概観し、日本における米の生産地の分布を捉える。



「日本の平野、川」の分布図と自分が作成した地図を重ね合わせ、地形と米の生産地との関連に気付き、表現する。

- ・ あらかじめ共有している「日本の平野、川」の分布図と米の生産地にマークを付けた地図を端末上で重ね合わせる。
- ・ 川や平野の多いところと米作りの盛んな地域との重なりに着目し、自然環境との関連について捉える。

## 教師の指導のポイント

- 白地図にまとめる活動をした後に、「地図を作ってわかったことは何かな。」と問うことで、完成した地図を概観できるようにして気付きを生む。
- 着目させたい視点を明らかにして資料を準備し、2枚の資料を重ね合わせる活動を通して、児童が社会的事象を比較・関連させて読み取ることができるようにする。